

北海道社会貢献賞(自治功労)

長年にわたり、市町村長、市町村議会議員や市町村職員として地方自治の発展に貢献した人を対象とする、今年度の北海道社会貢献賞(自治功労)の表彰式が札幌市内のホテルで行われました。

新ひだか町からは元副町長の吉田亨秀さんが受賞され、高橋はるみ知事から表彰状が贈られました。

吉田さんは、昭和42年から37年余の永きにわたり、静内町職員として職務に精励するとともに、平成16年から4年間は助役及び副町長として、職員時代に培った豊富な行政経験と優れた判断力を遺憾なく発揮し、町政の発展に努められました。



12/11 **吉田亨秀**さん
(静内清水丘)

新ひだか町善行表彰

町では、長年にわたり、地域の清掃や環境整備のボランティア活動を続けてこられた静内清水丘の杉山春男さん、屋敷長蔵さんに善行表彰を贈呈しました。

清水丘地区は坂が多く、特に降雪や凍結になる冬場は滑りやすくなるため、杉山さんと屋敷さんは、それぞれ個別に歩道の除雪や水割り、また、春から秋にかけては道路周辺の清掃・草刈りなど、長年にわたり自主的に取り組んでこられました。

杉山さんは11年ほど前から、清水丘自治会や清水丘老人クラブの会員として、側溝の不良箇所や倒れている看板を修繕するほか、地域の「いこいの森」の枯れ枝の伐採、周辺道路の清掃などにあたり、



1/8 **杉山春男**さん
(静内清水丘)
屋敷長蔵さん
(静内清水丘)

常に道路付近に危険物が散在してないか注意を払ってこられ、地域の環境整備に尽力されました。

また、屋敷さんは15年ほど前から、清水丘自治会や清水丘老人クラブの会員として、地域公園内の埋もれている緑石の整備のほか、病気で入院中のため留守となつている家屋周辺の草刈りなど、地域の環境整備に尽力されました。

酒井町長から表彰状を受け取つた屋敷さんは「長い期間続けてきただけで、このような賞をいただけることは、夢にも思っていなかった。これからも地域のためにできることをしていきたいと思います」と話していました。



彩りも華やかな振り袖、真新しいスーツに身を包んだ新成人237人が笑顔とともに集い、会場は若者たちの明るい声から生まれた、楽しく和やかな雰囲気にも満たされました。

式では新成人を代表して、古沢秀一さんが町民憲章を朗唱、川村拓さん、山形彩佳さんが決意表明を行いました。

新成人の皆さん、明るい未来が待っています。頑張ってください！

平成22年(第4回)
新ひだか町成人式
1月10日(日) 町公民館